

# 地域特産の花を学んで楽しむ 「地域特産の花を使ってプリザーブドフラワーを作ろう」

作成者：香川県小豆農業改良普及センター 花き担当 副主幹 藤田 則久

- 対象者・人数：小学校 中高学年 20人～30人
- 所要時間：4時間半程度（3回の授業の合計）
- 対象場所：小学校
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名  
補助者 生徒5～6名に1名

## ■ 資材

### ○プリザーブドフラワー用材料

- ・染色液           ・カップ           ・花切り用ハサミ
- ・割り箸           ・卵ケース       ・スポイト
- ・糊                ・空き缶           ・シリカゲル
- ・キッチンペーパー   ・ビニール手袋   ・マスク

### ○コサージュ用材料

- ・プリザーブドフラワー（大1、小1）
- ・針金（20番、22番、26番）各1本
- ・リボン（1～2本）   ・羽（2枚）    ・安全ピン 1個
- ・葉（1枚）        ・フローラテープ 50cm
- ・道具類（ペンチ、ハサミ、ホットボンド）



卒業生の胸を飾るコサージュ



鮮やかな色に仕上がったコサージュ



コサージュ作成資材一式



プリザーブドフラワー作成資材一式

## ■ 花材

- ・キク（輪ギク・白色・ある程度開いたもの・1本）
- ・キク（輪ギク・白色・固いもの・1本、白色の小ギクやスプレーギクでもよい）

## 【指導内容と目的】

- ・花材を農家の畑から自分たちの手で収穫したり、農家に質問することで、花作りの苦勞はもとより、地域の特産品の歴史や農業の大切さを学ぶ。
- ・完成した作品を学校最大の行事の一つである卒業式で、卒業生の胸を飾ることにより、花を贈る喜びを感じてもらおうとともに、地域の花についてより多くの方に知ってもらおう。
- ・作った作品を家に持ち帰り、家族で話題にしてもらうことで、地域の産業に家族で関心を持ってもらう。
- ・「仏花」のイメージが強いキクをプリザーブドフラワーに加工し、華やかなコサージュに仕上げることで、キクの新しい魅力や使い方を知ってもらう。
- ・補助者（地元の農家やJ A職員）との作業を通じてのふれあいにより、地域住民との交流を深める。

## 【対象者への配慮】

## ○花材の収穫体験

- ・キクの収穫には鋭利なせん定ハサミを使うので、その取扱に十分注意する。
- ・畑の中には収穫中の花があることから、他の収穫物を傷つけないよう、補助者は生徒の行動に気を配る。
- ・温室は外気温との差が大きいことから、特に夏場に行事を行う時は体調に十分注意する。
- ・見学先のJ A施設は、機械等が動いて危険な箇所があることから、生徒が近づかないよう目を離さない。

## ○プリザーブドフラワー作り

- ・作業時は、ビニール手袋、マスクを必ず着用する。
- ・染色液は臭いがあることから、気分が悪くなる生徒がいないかなど、細心の注意を払う。
- ・花材の漬け込み時、取り出し後の糊付け作業時には、窓を開け換気を十分に行う。
- ・作業には補助が必要な部分があることから、5～6人を1グループとして必ず1人は補助者が付くこと。

## ○コサージュ作り

- ・鋭利な針金や高温となるグルーガンなど、取扱を誤ると怪我をするものをいくつか使うことから、その取扱に十分注意する。
- ・花の配置やテープの色などは、生徒の自主性を尊重すること。

※重要なポイント

卒業式の日から制作に必要な日数を逆算し、農家の収穫時期と学校の行事開催時期が一致するよう、早い時期から両者と十分に協議する。

行事日と適切な開花具合を合わせるのが一番難しい。



キク農家でキクの作り方を学ぶ



プリザーブドフラワーに使用する白輪ギク  
(咲かせ過ぎ、花が開き過ぎていない方が良い)



JA職員からキクの出荷方法について学ぶ



キクを自動で選花する機械を見学

## ■ 1. 指導計画・スケジュール

月	内 容	場 所	指導者・補助者
8	今年度実施内容の打合せ	J A香川県会議室	アマムデ・アレンジ研究会 J A香川県小豆青壮年部 J A香川県小豆営農センター
10	地域特産の「電照ギク」についての学習	J A香川県池田集荷場	香川県小豆農業改良普及センター
	花材（輪ギク）の収穫	キク農家ビニールハウス	
	プリザーブドフラワー作り（染色液への漬け込み）	小学校	
11	プリザーブドフラワー作り（のり付け・乾燥）	小学校	
2	コサージュ作り	小学校	
3	卒業式での卒業生への着用	小学校	

## ■ 2. 事前の準備

## ○花材の収穫体験

- ・メインの輪ギク（大）は、ある程度開かせた方が出来上がりがきれいなことから、農家の収穫物とは別に栽培管理しておく。
- ・体験時に適度な開花具合になっているよう、農家と打合せをしておく。ただし、咲かすほど作業時に花卉が取れやすいので、7分咲き程度とする。

## ○プリザーブドフラワー作り

- ・限られた授業時間の中で、できるだけ体験に時間が取れるよう、カップや手袋などの資材は事前に机の上に配布しておく。
- ・染色後の乾燥時には臭いが発生することから、生徒が入らない乾燥用の部屋（理科の準備室など）を確保しておく。
- ・染色後の花を取り出す時に使う「卵パック」、乾燥のために使うお菓子等の「空き缶」は数が多く必要なので、生徒達で話し合い協力しながら持ち寄る。
- ・コサージュの完成までには、多々失敗が起こることから、素材が不足することのないよう、余分に作成しておく。

## ○コサージュ作り

- ・素材のプリザーブドフラワーは、少しの力でもばらけやすいので、失敗した時のために予備を準備しておく。

### ※重要なポイント

補助者もプリザーブドフラワー作りが初めてという方が多いので、事前に作業内容や手順を確認しておく、当日スムーズに補助ができる。



のり付け作業（必ずマスク、手袋を着用）



各班に必ず1人は補助者が付くこと

### ■ 3.当日の流れ

#### ・時間（所要時間）：

- 1回目：農家での花材収穫体験及びJAキク選花場の見学（1時限・45分）  
花材の染色液への漬け込み（1時限・45分）
- 2回目：糊付け、乾燥（2時限・90分）  
（時間的に余裕があるが、1時限では足りない。花の勉強など他の項目を組み入れてもよい。）
- 3回目：コサージュ作り（2時限・90分）

#### ・具体的な手順

- 1回目：花材の収穫体験と染色液への漬け込み
  - ①農家からキクの栽培と収穫方法の説明
  - ②収穫体験（補助者が付く）  
《この間、補助者がキクを教室に持ち帰り水あげ》
  - ③生徒からキク栽培の質問
  - ④JAキク選花場を学習
  - ⑤教室に戻り染色液への漬け込み、名札の取り付け
  - ⑥生徒が立ち入らない部屋で20日間保管



花の大きさに合った、最小限の容器を選ぶと良い。  
（染色液が少なくすみ経済的）

○2回目：糊付け、乾燥

- ①染色液からキッチンペーパーをひいた卵ケースに取り出し
- ②花がばらけないようにのり付け
- ③生徒が立ち入らない部屋で乾燥（この間、窓を開けておく）
- ④数日間乾燥後、シリカゲルを入れた容器で再び乾燥（この作業は補助者で）



のり付けは、時間をかけ細かく丁寧に



きれいに染め上がった白輪ギク

○3回目：コサージュ作り

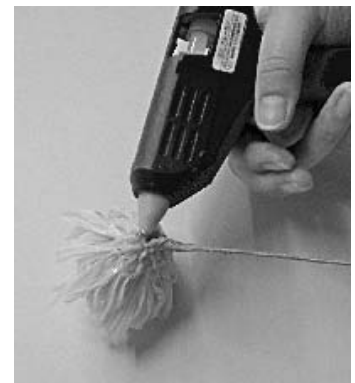
- ①キクに固定用の針金を通し、フローラテープを巻く
- ②ピン用の針金にフローラテープを巻きピンに通す
- ③グルーガンで葉と羽を付ける
- ④できあがったものを組み立ててフローラテープを巻く
- ⑤蝶々結びにしたりボンをホットボンドで貼り付ける
- ⑥針金の長さをペンチで切りそろえる



花は、強く握るとくずれてしまうのでやさしく扱う



固定用の針金にフローラテープを巻くと美しく仕上がる



針金に飾りを付けるのはホットボンドが便利



羽や葉を添えると豪華な仕上がりになる



完成後は、ふた付きの容器に乾燥剤を入れて保存する

### ・指導ポイント

#### ○花材の収穫体験

- ・キクが満開に近いとばらけやすく作業がしづらい。生徒は大きく開いたものを収穫したがるので、補助者が声をかけて6~7分咲きのものを選ぶよう助言する。

#### ○プリザーブドフラワー作り

- ・染色液が高価なことから、漬け込み用の容器は最小限の大きさの物を使っている。このため、容器に入れる際、6~7分咲きでもばらけることがあるので、補助者が補助すること。
- ・生徒は染色液を容器一杯に入れたがるので、必要最小限でとどめること。
- ・糊付けは、細めのスポイトを使い花卉の間に差し込みながら少量ずつ丁寧に行う。生徒たちはおもしろがってたっぷりかけてしまうが、乾燥後、花卉のしなやかさが無くなり、造花のように仕上がってしまうので助言、指導が必要である。

#### ○コサージュ作り

- ・プリザーブドフラワーはばらけないように糊付けをしているが、それでも少しの力で花卉が取れたりするので、取扱いに注意を促す。  
花に針金を刺す時は、特に花が壊れやすいので細心の注意を払う。
- ・グルーガンは初めて使う生徒がほとんどなので、火傷などに特に気をつける。



怪我に注意しながらみんなで楽しく作業する



生徒のアイデアを大切に



ついに迎えた卒業式での着用



送った4年生も送られた卒業生も感動

## 「プリザーブドフラワー」ってどんな花？

「プリザーブドフラワー」とは、生花に保存液と着色液を吸わせた後、乾燥させたもの。ドライフラワーと違い、鮮やかな色や柔らかい感触を長期間（注）保つことができる。

欠点は、湿気に弱く、生花よりも破損しやすい。

キクはもちろん、カーネーション、ガーベラ、アジサイ、カスミソウなどいろいろな花で楽しめる。

（注）保存状態にもよるが、高温多湿の日本では3～4年といわれている。



